

かねがさき 社福だより

2023年
第259号

令和5年3月16日発行

主な内容

- P1 スノーバスターズ活動報告
- P2~3 トピックス 1~5
- P4 デイサービス特集
- P5 厚生労働大臣表彰
- P6 寄付の報告
会長の想い
ファミサポ会員募集

スノーバスターズ活動報告



金ヶ崎町スノーバスターズでは、住民の方々や町内に拠点を置く企業の方々にご協力いただきながら、町内の除雪困難世帯の雪かきを行いました。

計7回の実施で、延べ270人のボランティアの方々に参加いただき、町内110世帯を訪問いたしました。

たくさんのご協力ありがとうございました。



東北電力(株)水沢電力センター様のご協力のもと、2月中の水曜日には除雪機を使用した活動を実施しました。

ご多忙な業務の合間ですが、精力的な除雪をしていただきました

トピックス

話題の事業

1 ワークステーションかねがさき「お楽しみ会」

トピックス

2月23日(木)、ワークステーションかねがさきでは「お楽しみ会」を開催しました。当施設では、施設行事の一環として毎月1回程度、利用者の皆さんにお楽しみいただきながら親睦・交流を深めていただくためのイベント行事を行っています。

午前は、就労支援B型事業所の皆さんはトランプゲームを楽しみ、生活介護事業所の皆さんは職員と一緒に、色紙でひな人形づくりを楽しみました。

午後は食堂で、両事業所の皆さんで交流を楽しみました。笑顔がたくさん見られ、利用者の皆さんにも満足いただける行事となりました。



2 第32回・第33回はっぴいふれいすかねがさき

トピックス



第32回目(1月21日開催)は、こがねパン3種セットをテイクアウト方式で124名の参加者へ手渡すことができました。

JA女性部さんからは、永沢産りんごの手作りアップルパイをご提供いただきました。りんごの甘さのみで作られたフィリングは絶品でした。

第33回目(2月25日開催)は、トラットリアアプリミさんの特製お弁当をテイクアウト方式で121名の参加者へ手渡すことができました。メインのチーズロールチキンカツが子どもから大人からも大好評でした。

JA女性部さんからは、手作りブラウニーをご提供いただきました。



次回は
3月26日(日)を
予定しています。

3 100歳記念長寿祝品贈呈式

トピックス

【後藤タケさん】

1月20日、後藤タケさんの長寿祝品贈呈式が入所している特別養護老人ホーム友愛園で行われました。

出稼ぎに行くことが多かった夫の故・重盛さんの不在中は、農作業をしながら一人で家族を支えたというタケさん。長寿の秘訣は好き嫌いなく食べることとのことです。

この日は、家族や関係者から祝福を受け、やさしく微笑みながら感謝を伝えていました。



4 卓球バレー体験・交流会

トピックス

2月26日に、金ヶ崎町自立支援協議会地域生活支援部会が、金ヶ崎町身体障害者福祉協会の皆さんと一緒に、障がいのある方や児童から大人まで楽しめるスポーツである、「卓球バレー」の体験・交流会を開催しました。

身体障害者福祉協会及川会長から、卓球バレーの活動内容やルール説明をわかりやすく行って頂いた後、実際に試合を行いながらルールを学びました。勝ち抜き戦を行い、白熱した試合となりました。「これからも卓球バレーをやりたい」と話す参加者もあり、楽しい時間を過ごしました。



5 ボランティアスクール

トピックス



【手話教室】

金ヶ崎小学校では手話教室を初めて実施しました。



自分の名前や合唱曲を手話で表現する新鮮な体験に、児童の皆さんも夢中で取り組んでいました。



【視覚障がい者との交流会】

西小学校では、身体障害者福祉協会視覚障害者部会の皆さんと交流会を行いました。

実際に日常生活で使用している器具に触れたり、一緒に白杖や点字の記入体験をしたりするなど、積極的に取り組んで理解を深めました。



【福祉施設交流会】▲

西小学校では、介護予防施設西光荘様のご協力のもと、福祉施設交流会を実施いたしました。児童のみなさんの元気な歌や合奏に、涙ぐんで喜ぶ利用者の方もいらっしゃいました。

【補助犬体験】

第一小学校と西小学校では、補助犬体験を行いました。手や足に障がいのある方の手助けをする介助犬は、全国でも約60頭程度です。

落としたペンを拾うなどの実際の仕事風景に、児童の皆さんも目を輝かせていました。



デイサービス

当会のデイサービスでは、新型コロナウイルスの影響で事業の制約を受け
 中、利用者の皆さんにより充実したサービスを提供するために、新たな取
 り組みを始めました。

【選べる特別メニュー】

利用者の皆さんの食の楽しみを充実させようと、月ごとに期間
 を定め季節などに合わせた選べるメニューを提供しています。

2月13～17日は、寒い時期に心も体も温まる「おでん屋台
 週間」と定め、手作りのちよ
 うちんやのれんで雰囲気を出し、ワークステーションか
 ねがさきの職員がおでんづく
 りに腕を振っていました。

利用者の佐藤タエさんは、
 「大根に味がしみていておいしい。熱いものが食べられるの
 は嬉しい。」と微笑みながら話
 していました。



【おもてなしの花】

季節の移り変わりを楽しんでいただくために、
 利用者の皆さんや職員から花の提供を受け、「おも
 てなしの花」を飾っています。

一輪挿しの編みカバーは、利用者の皆さんが編
 んだもので、活動を楽しみながら生活にも彩が出
 ています。

【おやつ作り】

月1回(1週間)、利用者の
 皆さんと一緒におやつ作りを
 実施しています。

2月は「バレンタインカッ
 プケーキ」を作りました。

この取組みは、日常生活に
 活かせる自立支援の機能訓練
 にも効果があり、利用者の皆
 さんには作るのも食べるのも
 楽しんでいただいています。



普段の活動も賑やかに



厚生労働大臣表彰

2022年度の社会福祉功労者厚生労働大臣表彰に、金ヶ崎町から高橋重貴さんと鈴木清子さんのお二人が選ばれました。

ボランティア功労者に選ばれた高橋重貴さんは、1995年の金ヶ崎町スノーバスターズ結成当時から役員を歴任し、昨年までは会長を務めました。また、現在も町ボランティア連絡協議会の副会長としてご尽力いただいています。

社会福祉事業功労者に選出された鈴木清子さんは、1985年度から当会の職員として勤務し、2019年度からは放課後等デイサービスクレヨンの管理者を務めています。

お二人は1月26日、高橋寛寿町長から表彰状の伝達を受け、これまでを振り返りながら決意を新たにしました。



【高橋重貴さん】

ボランティアのきっかけは郵便局員として働いていた当時、雪かきができない高齢者宅が心配になったことです。雪かきが無くなることはなく、今後は高齢化も進みます。除雪とセットで見守りをしていくことが、今後必要になってくると思います。



【鈴木清子さん】

放課後等デイサービスクレヨンの業務では、毎日元気で家に帰ってもらえるよう気を付けて取り組んでいます。

多くの方にいろいろな事を教えていただいています。推薦してもらえなければここまで来なかったのですが、今回の受賞は皆さんのおかげです。



寄付の報告

令和5年1月7日から2月28日までの受付分

○福祉基金

高橋和男様 20,000円
匿名様 30,000円
金ヶ崎ライオンズクラブ様 34,175円

○物品寄付

有住マサエ様 みかん 5kg *デイサービスへ

木本有美ファンクラブ親睦ゴルフ会、
金ヶ崎ライオンズクラブ親睦ゴルフ会
でのドネーションをいただきました。



ありがとうございました



孤立と孤独

金ヶ崎町社会福祉協議会 会長 高橋 範夫

会長の
想い

Part 11

今回は社会福祉事業に大切な言葉で、似て非なる孤立と孤独について改めて考えてみました。孤立を「某国語辞典」で調べてみますと、助ける者がなく、一人であること。また「某比較辞典」では、一人だけ他から離れて、繋がりが無い（助けの無い）状態。と記してあります。一方孤独は、前者の辞典によると、味方のいないこと。ひとりぼっちの状態。後者の辞典では精神的な繋がりのある人がいない状態。と記しています。

要約すると、孤立は状況を指し、孤独は気持ちを指す言葉といえます。孤立は災害で道路が寸断され助けを求めているのに助けられない。災害以外でも助けを求めているのに周囲がそれに気づかない。結果として孤立してしまう。一方孤独は、自ら進んでひとりぼっちを楽しむ理論的孤独と他人と接触できない精神的孤独に分類されと思います。私は、天涯孤独で自由を謳歌したいと思っている方以外は、孤立も孤独もなくし、お互いが支え合い、誰も安心して暮らせる福祉のまちづくりが極めて大事であると思います。特に高齢者の交流、除雪、ゴミ出しそして健康問題等々、課題は広範に及んでいます。

当社協では、現在支え合いマップ作りを推進しております。これは支える側も支えられる側も我がこととして捉え、誰もが地域の一員として安心して暮らせる地域づくりの具現化を目指しています。令和5年度も各地区での支え合いマップ作りを心底期待するところであります。支え合いマップ作りは孤立と孤独を解消するひとつのツールでもあります。

ファミリーサポートセンター かねがさき 会員募集中!

ファミサポかねがさきでは、子育てを手伝ってほしい「おねがい会員」と子育てのお手伝いをしてくれる「まかせて会員」を募集しています。興味のある方は下記お問い合わせ先までお気軽にお電話ください。

★「おねがい会員」 町内にお住まいの方、または町内に勤務されている方で、おおむね1歳～小学6年生までのお子さんをお持ちの方。

★「まかせて会員」 町内にお住まいの心身共に健康で子どもを預かることができる方。

※子育て支援の有償ボランティア活動です。

★「両方会員」 「おねがい会員」と「まかせて会員」の両方を兼ねている方。

お問い合わせ・お申込み先

ファミリー・サポート・センターかねがさき
(金ヶ崎町社会福祉協議会内)

TEL: 44-6060 FAX: 44-6106



- ◆主な活動内容◆ ・保護者の通院・私用等外出時の預かり (令和5年2月28日現在)
- ・兄弟姉妹の学校行事の時の預かり
- ・降園の際の送迎と預かり など 援助件数: 14件

社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106

EX-ル: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syakyoo.jp>



★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています